



令和元年度 上期放射線管理等報告書

令01原機(科保)048

令和元年11月13日

原子力規制委員会 殿

住所 茨城県那珂郡東海村大字舟石川765番地1
名称 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
代表者の氏名 理事長 児玉敏雄



核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第67条第1項及び試験研究の用に供する原子炉等の設置、運転等に関する規則第18条第1項の規定により次のとおり報告します。

工場又は事業所	名称	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所
	所在地	茨城県那珂郡東海村大字白方2番地4

1 放射性廃棄物の廃棄の状況

(1) 気体状の放射性廃棄物に含まれる放射性物質の放出量及び濃度

① 放射性物質の種類別の年間放出量

(単位：Bq)

測定箇所等	種類	全希ガス		¹³¹ I	¹³³ I	全粒子状物質	³ H
		⁴¹ Ar					
排気口又は排気監視設備							
合計							
年間放出管理目標値							

② 放射性物質の濃度の3月間についての平均値及び最高値^{注1}

(単位：Bq/cm³)

測定箇所		濃度	前半の3月間(4月～6月)		後半の3月間(7月～9月)		
			平均値	最高値	平均値	最高値	
排気口又は排気監視設備	注5 JRR-2 排気口	ガス	ND ^{注7}	ND ^{注7}	ND ^{注8}	ND ^{注8}	
		塵埃 ^{注3}	ND ^{注9}	ND ^{注9}	ND ^{注10}	ND ^{注10}	
	注4 JRR-3 排気口	ガス	ND ^{注11}	ND ^{注11}	ND ^{注12}	ND ^{注12}	
		塵埃 ^{注3}	ND ^{注13}	ND ^{注13}	ND ^{注14}	ND ^{注14}	
	注4, 注6 JRR-4 排気口		塵埃 ^{注3}	ND ^{注15}	ND ^{注15}	ND ^{注15}	ND ^{注15}
	注4 N S R R	原子炉棟 排気口	ガス	ND ^{注16}	ND ^{注16}	ND ^{注16}	ND ^{注16}
			塵埃 ^{注3}	ND ^{注17}	ND ^{注17}	ND ^{注18}	ND ^{注18}
		燃料棟 排気口	塵埃 ^{注3}	ND ^{注19}	ND ^{注19}	ND ^{注20}	ND ^{注20}
	TCA 排気口		塵埃 ^{注3}	ND ^{注21}	ND ^{注21}	ND ^{注22}	ND ^{注22}
	注4 FCA 排気口	塵埃 ^{注2}	ND ^{注23}	ND ^{注23}	ND ^{注24}	ND ^{注24}	
		塵埃 ^{注3}	ND ^{注25}	ND ^{注25}	ND ^{注26}	ND ^{注26}	
	注4 STACY 排気口	ガス	ND ^{注27}	ND ^{注27}	ND ^{注27}	ND ^{注27}	
		塵埃 ^{注2}	ND ^{注28}	ND ^{注28}	ND ^{注29}	ND ^{注29}	
		塵埃 ^{注3}	ND ^{注30}	ND ^{注30}	ND ^{注30}	ND ^{注30}	
	注4, 注6 TRACY 排気口		塵埃 ^{注3}	ND ^{注30}	ND ^{注30}	ND ^{注30}	ND ^{注30}
	注4 放 射 性 廃 棄 物 処 理 場	第1 廃棄物処理棟 排気口	塵埃 ^{注3}	ND ^{注31}	ND ^{注31}	ND ^{注31}	ND ^{注31}
		第2 廃棄物処理棟 排気口	塵埃 ^{注3}	ND ^{注32}	ND ^{注32}	ND ^{注32}	ND ^{注32}
		第3 廃棄物処理棟 排気口	塵埃 ^{注3}	ND ^{注33}	ND ^{注33}	ND ^{注34}	ND ^{注34}
		解体分別保管棟 排気口	塵埃 ^{注3}	ND ^{注35}	ND ^{注35}	ND ^{注36}	ND ^{注36}
		減容処理棟 排気口	塵埃 ^{注3}	ND ^{注37}	ND ^{注37}	ND ^{注38}	ND ^{注38}
汚染除去場 ^{注4} 排気口		塵埃 ^{注3}	ND ^{注39}	ND ^{注39}	ND ^{注40}	ND ^{注40}	

注1 放出核種については、別添参照

注2 α核種に対するもの

注3 βγ核種に対するもの

注4 原子炉施設以外からの放出分を含む。

注5 平成18年11月6日付けで、JRR-2の廃止措置計画認可

注6 平成29年6月7日付けで、JRR-4及びTRACYの廃止措置計画認可

注 7	1.7×10^{-4}	注 8	2.6×10^{-4}
注 9	1.7×10^{-9}	注 10	1.6×10^{-9}
注 11	1.1×10^{-3}	注 12	1.2×10^{-3}
注 13	1.8×10^{-9}	注 14	1.9×10^{-9}
注 15	1.2×10^{-9}		
注 16	2.7×10^{-3}		
注 17	6.5×10^{-9}	注 18	7.8×10^{-9}
注 19	5.8×10^{-10}	注 20	5.7×10^{-10}
注 21	4.4×10^{-9}	注 22	4.8×10^{-9}
注 23	1.1×10^{-10}	注 24	1.2×10^{-10}
注 25	3.4×10^{-9}	注 26	3.7×10^{-9}
注 27	9.0×10^{-4}		
注 28	1.6×10^{-11}	注 29	1.5×10^{-11}
注 30	1.6×10^{-10}		
注 31	6.2×10^{-10}		
注 32	1.4×10^{-10}		
注 33	5.6×10^{-10}	注 34	5.2×10^{-10}
注 35	6.1×10^{-10}	注 36	5.7×10^{-10}
注 37	6.0×10^{-10}	注 38	6.1×10^{-10}
注 39	3.3×10^{-9}	注 40	3.6×10^{-9}

(2) 液体状の放射性廃棄物に含まれる放射性物質の放出量及び濃度

① 放射性物質の種類別の年間放出量

(単位：Bq)

種類 測定の箇所等	全核種 (^3H を除く。)	核種別			
		^{51}Cr	^{54}Mn	^{59}Fe	^{58}Co
排水口又は排水監視設備					
合計					
年間放出管理目標値					

(単位：Bq)

種類 測定の箇所等	核種別					
	^{60}Co	^{131}I	^{134}Cs	^{137}Cs	^{89}Sr	^{90}Sr
排水口又は排水監視設備						
合計						
年間放出管理目標値						

(単位：Bq)

種類		核種別		³ H
		アルファ線を放出する放射性物質	ベータ線を放出する放射性物質	
測定の箇所等				
排水口又は排水監視設備				
合計				
年間放出管理目標値				

② 放射性物質の濃度の3月間についての平均値及び最高値

(単位：Bq/cm³)

濃度		前半の3月間（4月～6月）		後半の3月間（7月～9月）		
		平均値	最高値	平均値	最高値	
排水口又は排水監視設備	注1 第1排水溝	³ H	—注2	—注2	—注2	—注2
		³ H以外	1.2×10^{-7}	1.7×10^{-5}	1.7×10^{-7}	2.6×10^{-5}
	注1 第2排水溝	³ H	6.0×10^{-2}	7.5×10^{-1}	1.1×10^{-1}	1.1×10^0
		³ H以外	4.0×10^{-6}	2.2×10^{-4}	1.4×10^{-5}	5.8×10^{-4}
	注1 第3排水溝	³ H	—注2	—注2	—注2	—注2
		³ H以外	ND注3	ND注3	ND注4	ND注4

注1 原子炉施設以外からの放出分を含む。

注2 ³Hを含む廃液の放出はなかった。注3 2.4×10^{-4} 注4 2.1×10^{-4}

(3) 液体状の放射性廃棄物の保管量等

(単位：m³)

施設の名称							施設合計	
放射性廃棄物の種類 量								
前年度末保管量								
当該年度の発生量								
当該年度の減少量								
施設内減量								
施設外減量								
当該年度末保管量								
保管設備容量								

(4) 固体状の放射性廃棄物の保管量等

(単位：本)

施設の名称							施設合計	
放射性廃棄物の種類 量								
前年度末保管量								
当該年度の発生量								
当該年度の減少量								
施設内減量								
施設外減量								
当該年度末保管量								
保管設備容量								

2 使用済燃料の貯蔵量等

(単位：体)

施設の名称			合計
使用済燃料の種類			
前年度末貯蔵量			
当該年度の発生量			
当該年度の搬出量			
搬出先の名称			
当該年度末貯蔵量			
貯蔵施設容量			

3 放射線業務従事者の線量分布

(1) 放射線業務従事者の1年間の線量分布

線量	線量分布 (人)				
	5 mSv以下	5 mSvを超え 10mSv以下	10mSvを超え 15mSv以下	15mSvを超え 20mSv以下	20mSvを超え 25mSv以下
放射線業務従事者					
職員					
その他					
合計					

線量	線量分布 (人)				
	25mSvを超え 30mSv以下	30mSvを超え 35mSv以下	35mSvを超え 40mSv以下	40mSvを超え 45mSv以下	45mSvを超え 50mSv以下
放射線業務従事者					
職員					
その他					
合計					

線量	線量分布 (人)		総線量 ^{注1} (人・mSv)	平均線量 (mSv)	最大線量 (mSv)
	50mSvを 超えるもの	合計			
放射線業務従事者					
職員					
その他					
合計					

(2) 女子（妊娠不能と診断された者及び妊娠の意思のない旨を試験研究用等原子炉設置者に書面で申し出た者を除く。）の放射線業務従事者の3月間の線量分布

放射線業務従事者		線量	線量分布（人）			
			1 mSv以下	1 mSvを超え 2 mSv以下	2 mSvを超え 5 mSv以下	5 mSvを超え るもの
前半の3月間 (4月～6月)	職員	11	0	0	0	11
	その他	2	0	0	0	2
	合計	13	0	0	0	13
後半の3月間 (7月～9月)	職員	10	0	0	0	10
	その他	2	0	0	0	2
	合計	12	0	0	0	12

放射線業務従事者		線量	総線量 ^{注1} (人・mSv)	平均線量 (mSv)	最大線量 (mSv)
前半の3月間 (4月～6月)	職員	0	0	0.0	0.0
	その他	0	0	0.0	0.0
	合計	0	0	0.0	
後半の3月間 (7月～9月)	職員	0	0	0.0	0.0
	その他	0	0	0.0	0.0
	合計	0	0	0.0	

注1 使用する線量計による評価値が0.1mSv単位であるため、小数点以下1桁目を四捨五入し、整数として記載する。

4 試験研究用等原子炉の運転時間及び熱出力

[試験研究用等原子炉の名称：JRR-2]

月別	項目	運転時間 (h)	熱出力	
			平均(kW)	最大(kW)
4月				
5月				
6月				
7月				
8月				
9月				
合計				

注 平成18年11月6日付けで、JRR-2の廃止措置計画認可

[試験研究用等原子炉の名称：JRR-3]

月別 項目	運 転 時 間 (h)	熱 出 力	
		平 均 (kW)	最 大 (kW)
4 月	—	—	—
5 月	—	—	—
6 月	—	—	—
7 月	—	—	—
8 月	—	—	—
9 月	—	—	—
合 計	—	—	

[試験研究用等原子炉の名称：JRR-4]

月別 項目	運 転 時 間 (h)	熱 出 力	
		平 均 (kW)	最 大 (kW)
4 月			
5 月			
6 月			
7 月			
8 月			
9 月			
合 計			

注 平成29年6月7日付けで、JRR-4の廃止措置計画認可

[試験研究用等原子炉の名称：NSRR]

月別 項目	運 転 時 間 (h)	熱 出 力	
		平 均 (kW)	最 大 (kW)
4 月	—	—	—
5 月	—	—	—
6 月	—	—	—
7 月	—	—	—
8 月	—	—	—
9 月	—	—	—
合 計	—	—	

[試験研究用等原子炉の名称：FCA]

月別 項目	運 転 時 間 (h)	熱 出 力	
		平 均 (kW)	最 大 (kW)
4 月	—	—	—
5 月	—	—	—
6 月	—	—	—
7 月	—	—	—
8 月	—	—	—
9 月	—	—	—
合 計	—	—	

[試験研究用等原子炉の名称：TCA]

月別 項目	運 転 時 間 (h)	熱 出 力	
		平 均 (kW)	最 大 (kW)
4 月	—	—	—
5 月	—	—	—
6 月	—	—	—
7 月	—	—	—
8 月	—	—	—
9 月	—	—	—
合 計	—	—	

[試験研究用等原子炉の名称：STACY]

月別 項目	運 転 時 間 (h)	熱 出 力	
		平 均 (kW)	最 大 (kW)
4 月	—	—	—
5 月	—	—	—
6 月	—	—	—
7 月	—	—	—
8 月	—	—	—
9 月	—	—	—
合 計	—	—	

[試験研究用等原子炉の名称：TRACY]

項目 月別	運 転 時 間 (h)	熱 出 力	
		平 均 (kW)	最 大 (kW)
4 月			
5 月			
6 月			
7 月			
8 月			
9 月			
合 計			

注 平成29年6月7日付けで、TRACYの廃止措置計画認可

別添

放射性物質の放出核種について

(1) 濃度の測定及び計算に当たって対象とした核種並びに周辺監視区域外における放射性物質の空気中の濃度限度及び周辺監視区域外における放射性物質の水中の濃度限度

測定の箇所		対象となる 主な核種	濃度限度 (Bq/cm ³)		
排気口又は排気監視設備	JRR-2排気口	ガス	³ H	3×10 ⁻³	
		塵埃(βγ核種)	⁶⁰ Co	4×10 ⁻⁶	
	JRR-3排気口	ガス	⁴¹ Ar	5×10 ⁻⁴	
		塵埃(βγ核種)	¹³¹ I	5×10 ⁻⁶	
	JRR-4排気口	塵埃(βγ核種)	⁶⁰ Co	4×10 ⁻⁶	
	NSRR 原子炉棟排気口	ガス	⁴¹ Ar	5×10 ⁻⁴	
		塵埃(βγ核種)	¹³¹ I	5×10 ⁻⁶	
	燃料棟排気口	塵埃(βγ核種)	⁶⁰ Co	4×10 ⁻⁶	
	TCA排気口	塵埃(βγ核種)	¹³¹ I	5×10 ⁻⁶	
	FCA排気口	塵埃(α核種)	²³⁹ Pu	3×10 ⁻⁹	
		塵埃(βγ核種)	¹³¹ I	5×10 ⁻⁶	
	STACY排気口	ガス	⁸⁵ Kr	1×10 ⁻¹	
		塵埃(α核種)	²³⁹ Pu	3×10 ⁻⁹	
		塵埃(βγ核種)	⁶⁰ Co	4×10 ⁻⁶	
	TRACY排気口	塵埃(βγ核種)	⁶⁰ Co	4×10 ⁻⁶	
	放射性廃棄物処理場	第1廃棄物処理棟排気口	塵埃(βγ核種)	¹³⁷ Cs	3×10 ⁻⁵
		第2廃棄物処理棟排気口	塵埃(βγ核種)	¹³⁷ Cs	3×10 ⁻⁵
		第3廃棄物処理棟排気口	塵埃(βγ核種)	¹³⁷ Cs	3×10 ⁻⁵
		解体分別保管棟排気口	塵埃(βγ核種)	¹³⁷ Cs	3×10 ⁻⁵
		減容処理棟排気口	塵埃(βγ核種)	¹³⁷ Cs	3×10 ⁻⁵
汚染除去場排気口	塵埃(βγ核種)	¹³⁷ Cs	3×10 ⁻⁵		
排水口又は排水監視設備	第1排水溝	³ H	³ H	2×10 ¹	
		³ H以外	⁶⁰ Co ¹³⁷ Cs	2×10 ⁻¹ 9×10 ⁻²	
	第2排水溝	³ H	³ H	2×10 ¹	
		³ H以外	⁶⁰ Co ¹³⁷ Cs	2×10 ⁻¹ 9×10 ⁻²	
	第3排水溝	³ H	³ H	2×10 ¹	
		³ H以外	⁶⁰ Co	2×10 ⁻¹	

注1 対象となる主な核種とは、放出された又は放出が考えられる核種のうち、その量と濃度限度の逆数との積が大きい核種をいう。

(2) 排気口において濃度限度を超えているものについて

JRR-3等から放出された放射性物質は周辺監視区域外において下表のように希釈され、周辺監視区域外における放射性物質の最大濃度は濃度限度を十分下まわっている。

周辺監視区域外における希釈割合

排気口	希釈割合
JRR-3	約 3×10^{-5}
NSRR	約 1×10^{-5}

$$\text{希釈割合} = \frac{\text{最大濃度地点の放射性物質濃度}}{\text{排気口の放射性物質濃度}}$$